

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会		主 査 名：西村 功 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010 年度 諸外国の動向と我が国の技術展望</li> <li>・2011 年度 適応できる技術範囲の特定</li> <li>・2012 年度 具体的なモニタリングデータの利用に関する提言</li> <li>・2013 年度 構造ヘルスマニタリング技術の将来展望に関する提言</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：西村 功 (東京都市大学) 幹事：酒向裕司 (小堀鐸二研究所)、吉元玲毅 (三菱総合研究所) 委員：岡田成幸 (北海道大学)、風間宏樹 (日建設)、曾根孝行 (竹中工務店)、近藤智佳子 (IHI)、佐藤貢一 (大成建設)、斎藤知生 (清水建設)、薛松涛 (東北工業大学)、中村充 (大林組)、三田彰 (慶應義塾大学)、森田高市 (建築研究所)、渡壁守正 (戸田建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：強震観測とモニタリング技術が災害時に果たすべき役割 (強震観測小委員会と共同) 参加者数 185 名 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	今年度の PD では東日本大震災における建物の強震観測や構造ヘルスマニタリングの状況をまとめ、耐震設計・減災への活用を図り、地震直後の避難誘導・安全確保、建物・都市の早期復旧や事業継続への展開・普及を考える契機となった。
委員会活動の問題点・課題	2013 年度は小委員会の最終年度となるので、4 年間の委員会活動を総括し報告書をまとめ、技術報告集等に投稿することを目標に活動を行う。